

うるま

市議会 だより

第30号

平成24年(2012)
発行12月1日



平成24年 秋の火災予防運動（うるま市消防本部にて）



元気に踊ったよ 消防車も見たよ（あかつき保育園のみなさん）

一般質問（9月定例会）

9月定例会には30名の議員が市政全般について一般質問を行いました。本紙面は、「市議会だより」申し合わせ事項により掲載されています。

誌面の都合上、簡潔な表現になっております。

なお、詳しい内容については市議会会議録を自治公民館、市内図書館、議会事務局、議会ホームページでご覧ください。

目次

一般質問	2
第71回8月臨時会議決結果	17
第72回9月定例会議決結果	17
第73回10月臨時会議決結果	18
米海兵隊による暴行致傷事件に関する抗議決議・意見書	19
うるま市議会 抗議文書を手交	20

■発行：うるま市議会 ■編集：議会広報編集調査特別委員会

住所 〒 904-2292 うるま市みどり町1-1-1 電話 098-973-3511 FAX 098-973-8123



一 川崎ルーシー河線市道202号線整備事業について
 二 栄野比地内(栄野比124番地)の排水溝整備について
 三 うるま市の祭りイベント行政について
 四 体育施設の整備について

名嘉山 隆

一 川崎ルーシー河線市道202号線整備事業について

質問 川崎ルーシー河線市道202号線整備事業について

答弁 久田建設部長 事業期間は平成24年度〜平成28年度を予定。今年度は事業費8千1百万円で実施設計及び分筆調査業務を行う。平成25年度は事業費3億7千2百万円でルーシー河橋の橋梁設計業務を行い、また用地物件交渉をスタートさせ、用地買収面積約3680㎡、物件補償17件の予定をしている。

二 栄野比地内(栄野比124番地)の排水溝整備について

質問 行政として、この一年間の取り組み状況を伺う。

答弁 久田建設部長 計画から既に8年以上も経過しており、再度の地権者の同意を担当課から自治会長へお願いをしている。担当課としては、排水溝整備ではなく道路整備も含めた計画も検討している。

質問 この事業についての現状と今後の見通しについて伺う。

答弁 久田建設部長 自治会で関係地権者の全員の同意書が揃ったら次回の実施設計に要望していきたい。

三 うるま市の祭りイベント行政について

質問 県道75号線を活用した歩行者天国或いは大綱曳大会の復活について

てどの様に考えているか伺う。

答弁 上間経済部参事 うるま市商工会や通商会、観光物産協会など関係団体が連携し地域主体の商店街活動の促進と併せ、議員からご提案の新しいイベントの創出による商店街活性化への支援も検討していく必要があると考える。

四 体育施設の整備について

質問 与那城陸上競技場へ人工芝の導入は出来ないか伺う。

答弁 上間経済部参事 各種スポーツやイベントの雨天時の対応や、多競技施設の代替の役割などを踏まえた人工芝の導入については、整備する事によりプロスポーツのキャンプやイベントの誘致の可能性があり、うるま市の後期基本計画の観光振興におけるスポーツコンベンションの推進とも合致し、本施設の設置目的なども踏まえながら所管する部署とも調整の上、今後、検討をしたい。

質問 具志川多種目球技場と管理棟前の市道225号線へ横断歩道の表示の設置について可能か伺う。

答弁 登川市民部長 市としてはうるま署へ早目に設置要請をしていきたい。

※他に「岩手県盛岡市友好都市提携の締結について」「教育行政について」について質問しました。



一 うるま市の七年間の歳入歳出について

田中 直次

一 うるま市の七年間の歳入歳出について

質問 歳入については自主財源が全体の約三割。地方交付税が平成23年度、134億円。地方交付税の運営によるのも大きい。おおむね健全な状態。実質収支額は約11億円。家計でいえば赤字。歳出は人件費が七年前より10億円の減。普通建設事業費は、統合庁舎建設事業の時期にピークを迎える。公債費は約500億円。実質公債費比率は10・8%。雇用の対策、企業誘致を柱に税収を上げていく必要があると思うが、どの様な方針を持って臨んでいくか伺う。

答弁 上間経済部参事 うるま市総合計画では雇用対策の基本方針として、働きたい人が職に就ける様、産業振興拠点施設を活用し、必要な技術の習得支援や就業相談を積極的に進める。雇用、就業情報の発信の充実や新たな企業誘致、さらにはソーシャルビジネス、コミュニティビジネスの事業化を促進し、就業機会を拡充に努めると定めている。

質問 消費税10%の時代に私達が打つべき手は何か。

答弁 当間企画部長 統合庁舎の供用開始による地域経済の低下や、活力低下についての不安については、

地域活性化につなげていく様に検討を図っていく。今年度からスタートした一括交付金や合併特例債などを活用した事業による地域振興にも積極的に取り組んでいく。

質問 平成25年度も一括交付金が交付される予定である。合併特例債も含め石川、勝連、与那城地域、島しょ地域の活性化の為にこの地域に一括交付金の活用を求めたいが。

答弁 当間企画部長 本年度の一括交付金事業には、観光振興プロジェクト、島しょ地域振興プロジェクト、観光地域基盤形成プロジェクトなど観光振興や島しょ地域振興に関する事業に多くの予算を計上している。

質問 ①予算の話の発行について ②予算の1%を市民が決める ③市民アンケートの実施について伺う。

答弁 当間企画部長 本市の予算の状況についてはホームページや広報うるまに掲載している。次に予算の1%を市民が決める事の意見については、提言として受けとめる。市が抱える課題の抽出や、市民ニーズの把握を目的に総合計画の前期及び後期計画の策定の際に、これまで二回実施している。

※他に「岩手県盛岡市友好都市提携の締結について」「教育行政について」について質問しました。



- 一 防災対策について
- 二 経済施策について
- 三 うるまブランド開発事業について
- 四 与勝第二中学校の校区について
- 五 平敷屋区の住宅密集地問題について

仲本 辰雄

一 防災対策について

質問 東日本大震災を機に改めて注目が集まっている事業継続計画は、地震や洪水といった災害や感染症の大流行などの危機が発生してもリスクを回避するために行政の重要業務をなるべく中断させず、早急に復旧させるため事前に立てておくもので、復旧までの時間や要員の確保、手順などをあらかじめ定めておく事業継続計画への認識を伺う。

答弁 喜納総務部長 業務を最短で復旧させるため事前に必要な準備や対応方針などを計画として定めておくもの。

質問 ぜひ策定をしてほしい。

答弁 喜納総務部長 策定の必要性などを含め、全庁的に議論する必要がある。

二 経済施策について

質問 商品券交付による住宅リフォーム奨励事業への見解を伺う。

答弁 上間経済部参事 住宅リフォーム支援事業を所管する担当部署とも相談をし、事業化に向けた取り組みが可能かどうか調整をしていきたい。

三 うるまブランド開発事業について

質問 ブランドづくりは魅力づくりである。魅力があつてこそ暮らしたいまち、訪れたいまち、そのまちの産物を求めたい、使いたいと、選んでもらえる。他地域にはないような探しをする中で、ブランド力をつけ

ていかなければ地域間競争に勝てない。観光分野、産業分野、文化分野などでブランドづくりをし、自信にあふれ、希望に満ちたまち、うるまづくりをするべきである。ブランド事業を立ち上げる可能性があるか見解を伺う。

答弁 上間経済部参事 調査、研究を行うていきたい。

四 与勝第二中学校の校区について

質問 うるま市の教育振興推進委員会の答申書の中で、与勝第二中学校への通学区域を見直し、弾力化を図る取り組みが望まれるとありますが、教育委員会としてどのように取り組んでいけるのか伺う。

答弁 藏根指導部参事 通学区域の見直し、弾力化等が必要な学校は、平成25年度以降後半から平成26年度にかけて各自治会と保護者、地域住民に対し説明会を開催していきたい。

五 平敷屋区の住宅密集地問題について

質問 基地交付金は米軍等に基地を提供している平敷屋があるから交付されている。その財源を活用して平敷屋区の住宅密集地問題を解決してほしい。

答弁 久田建設部長 特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用しての道路整備が十分可能。

答弁 当間企画部長 特定交付金の活用から検討されたほうが妥当と考える。



- 一 庁舎基本設計について
- 二 旧庁舎跡利用について
- 三 総合窓口について
- 四 台風一六号の被害と課題について
- 五 宮森小学校の津波災害対策について

松田 久男

一 庁舎基本設計について

質問 大事なデータの置いてあるサーバー室の防災機能はどうなっているか。また屋上庭園の利用方法について伺う。

答弁 山口総務部参事 建物は免震構造となる。津波対策としてサーバー室は三階に設置し無窓の部屋としている。データのバックアップは消防庁舎にシステムを構築している。屋上庭園は温暖化対策、津波避難場所として計画している。市民の利用については今後の検討としたい。

二 旧庁舎跡利用について

質問 跡利用計画の現状はどうなっているか。

答弁 喜納総務部長 12月を目途に白書を作成し、市民の意見や団体の意見も参考にして検討委員会の中で検討していく。

質問 議会の議論はどう反映されていくか。又私の提案する空手大学構想について積極的に投げかけてほしい。執行部の感想、感触を伺う。

答弁 喜納総務部長 議会での意見や提案あるいは意見交換会等での提言をして欲しい。空手大学構想については、現状では具体的に検討することは難しい。

三 総合窓口について

質問 統合庁舎完成後の地域の不便

を解消する為の総合窓口の具体的な考えを伺う。

答弁 喜納総務部長 25年に総合窓口準備室を置き、26年度に現在の支所において地域総合窓口のサービスを試みる。そこで事業検証を行い27年度に総合窓口の開設をする。市民により利便な形態を模索している。

質問 以前に提言したが、他の例では20人程度であらゆる対応をしている市もある。学校、保育、税金、道路行政等、現在検討されている提言書をさらに上回る内容にしたい。総務部の感想を伺う。

答弁 喜納総務部長 今後の窓口口に報告し、より良い地域総合窓口サービスとしたい。

四 台風一六号の被害と課題について

質問 被害と今後の課題について伺う。

答弁 喜納総務部長 人身には大きな被害は無し。課題としては海中道路閉鎖の広報や個人財産の管理の安全指導等である。

五 宮森小学校の津波災害対策について

質問 行政センタービルを建設し避難ビルとする提言について執行部の考えを伺う。

答弁 喜納総務部長 海抜5m以上の民間のビルなどを避難ビルと指定したい。防災対策に特化した施設の整備は難しいと考える。



一 自然学校の開設について
二 長寿学校の開設について

東 浜 光 雄

一 自然学校の開設について

質問 人は自然とのふれあいの中で、自然の神秘、優しき、恐ろしき等に感動し、豊かな感性、問題解決能力、粘り強さ等を培うと共に、人とのふれあいを通して生きる喜びや苦しみを知り、思いやりや協調性、社会性など身につけると言われている。しかし現在の子供達を取り巻く社会情勢の変化によって、自然とのふれあい、人と人とのふれあいが希薄になっていく現状にある。子供達が人を大切に、思いやる心を育み、命の大切さを学んでいくには自然とのふれあい、人と人とのふれあいを通して素直に学べる教育環境を作らなければならない。子供達が自然体でゆったりとした気持ちで学んでいける自然学校の開設が求められていると思うが。

答弁 仲田指導部長 各学校において総合的な学習の時間帯を活用して、地域の特性、自然を生かした学習を学校独自に計画実施している。また道徳教育や人権教育、安全教育としても自他の生命の尊重など、各学年の枠を取り払った様々な活動がなされている。今後も現行の指導体制並びに体験活動計画を進化、充実させていきたい。

質問

私の求める自然学校は、子供達の心の教育、心の充実を育んでいく為に、大人や教師が子供達としっかり向き合い、豊かな自然の中で心を開き、自然体で十分に時間をかけて学べる教育環境の整備である。心性や遊び非行型、引き籠っている子供達、全ての子供達が豊かな自然の中で学び、心豊かに未来を創造して羽ばたいていく教育の実践をしていく為に、島しょ地域への自然学校の開設をしていくべきと考えるが。

答弁

仲田指導部長 県内の青少年自然の家の施設を有効活用した自然体験活動の実践、また修学旅行のプログラムの一つとしての自然体験活動。青少年の家の活動も心因性の子供達の宿泊学習等も設定している。

二 長寿学校の開設について

質問 長寿大学について、協議会や会議でどの様な話し合い、方向性が示されたのか。

答弁 照屋教育部長 平成23年度うるま市まちづくり生涯学習推進基本計画において、長寿大学校を含めた市民大学の開設を図るとしている。

※他に「本市に伝わる文化、伝統芸能の継承・発展について」質問しました。



一 具志川幼稚園玄関前通路の大雨時の冠水対策について
二 具志川幼稚園玄関前通路の大雨時の冠水対策について
県道37号線（屋慶名大通り）拡幅工事について

金城 勝 正

一 具志川幼稚園玄関前通路の大雨時の冠水対策について

質問 具志川幼稚園玄関前通路の大雨時の冠水対策については「8月中旬に夏休み期間を利用して整備する」との答弁通りにアスファルト舗装で、片側に転落防止柵を設置した設計で整備が済みであり、迅速な対応に感謝申し上げる。そこで今回の工事の整備内容や、安全の面で配慮した点について伺う。

答弁 照屋教育部長 整備に当たっては車いすの利用可能な段差の解消、転落防止柵の設置、グレーチングふたの固定等の安全対策を講じている。

二 県道37号線（屋慶名大通り）拡幅工事について

質問 この件については、昨年の第62回6月定例会でも事業の進捗状況について質問をしたが、それから一年が経過しており、現在の工事区間の補償交渉の状況と工事の進捗状況について具体的に説明を。

答弁 久田建設部長 1工区の用地20筆中18筆が契約済である。物件補償については6件全てが契約済になっている。工事については全面改良の20mが完了し、片側改良延長35mが整備済となっている。2工区につ

いては用地15筆中12筆が契約済で、物件補償については8件中6件が契約済となっている。工事については、今年度において片側改良の約127mが工事発注済である。3工区については用地3筆、物件補償3件で現在、物件補償算定調査中である。全体での進捗率については、用地38件中30筆が契約済で進捗率は79%。物件補償17件中12件が契約済で、進捗率が71%である。工事については全体延長328mだが、工事種類の関係上、全体としての進捗率は出せない状況である。

質問 これから次年度に継続して整備する計画と、また新たな計画があれば伺いたい。

答弁 久田建設部長 次年度の整備計画としては未契約の用地補償契約を進め、その契約状況を見ながら工事着手をする予定である。

※他に「第三セクター財団法人おきなわ健康長寿研究開発センターに関する事項について」質問しました。

※他に「本市に伝わる文化、伝統芸能の継承・発展について」質問しました。



一 イチハナリアートプロジェクトについて
 二 保育行政について
 三 障害児保育について
 四 発達障害支援について
 五 学力向上について
 六 これからの農業基盤整備について

佐久田 悟



一 行政について
 二 福祉について
 三 産業について
 四 環境について
 五 教育について

比嘉 敦子

一 イチハナリアートプロジェクトについて

質問 「イチハナリアートプロジェクト」島嶼地域の活性化観光促進へ向けて地域の人達との連携や課題を踏まえ、次回開催に繋がる検証も必要と思うが考え方を伺う。

答弁 上間経済部参事 住民参加型で、島全体で通年による事業展開ができる組織体制の構築、特産品の販路拡大、リピーターによるイベント期間以外の誘客の拡大等が課題であり、当面は島の活性化の手法として継続していきたい。

二 保育行政について

質問 待機児童解消に向けた市の取り組みを伺う。

答弁 根路銘福祉部長 平成23年度から施設整備事業と既存施設の定員見直し等により、一〇〇人増員し、三年間で合計二四五人の定数枠を拡大していく予定。

質問 専門職である保育士の為にも待遇改善に向けて、一括交付金を活用して人件費の補助等ができないか。

答弁 根路銘福祉部長 国や県の制度、子ども子育て新システムがどう具体化されていくかという状況も見据えて今後検討したい。

三 障害児保育について

質問 障害児保育を実施している保育園に対し、特別支援保育事業として更なる補助金助成ができないか。

答弁 根路銘福祉部長 障害児保育

の需要は年々増加しており、助成額の検討も含め前向きに検討したい。

四 発達障害支援について

質問 発達障害の児童生徒その保護者に対して発達段階に応じた専門的な相談や支援が出来る「発達障害支援センター」の設置が必要と思うが市の考えを伺う。

答弁 仲田指導部長 議員提言のセンターだが貴重な助言であり全ての子ども達が安心して成長していける様関連機関と協力して取り組んでいきたい。

五 学力向上について

質問 親の経済力と学歴、学力との関係が問題となっておりが生徒達の学習状況をしっかりと把握してきめ細かな学習指導が必要だと考えるが

答弁 仲田指導部長 学力の育成の極めて重要なポイントとして捉え、全ての子ども達が等しく学べる機会として学習支援員を配置し支援強化を実施していく。

六 これからの農業基盤整備について

質問 うるま市の農業の未来の設計図「人、農地、プラン」市としてどう描いていくか。

答弁 島袋経済部長 与勝地下ダム基盤整備事業により、農産物の生産量増加を図り、地産地消及び第六次産業を促進し、農産物の販路の確保出荷体制を構築し、農家所得向上に繋がるよう展開していきたい。

一 行政について

質問 ①男女混合名簿の導入について
 ②女性の登用率。

答弁 仲田指導部長 ①利便性や混合名簿の意義を含めて人権尊重の観点から、学校長を中心に意見を交換し、判断してほしい。
 ②平成23年度25.1%で平成24年4月現在26.1%。登用率の向上に努めていく。

③男女混合名簿を導入している市町村。

答弁 仲田指導部長 東村、本部町、西原町、那覇市、座間味村、宮古島市、石垣市、竹富町、与那国町。

二 福祉について

質問 母子家庭等父子家庭及び寡婦の方が一時的に家事、育児が困難の際に家庭生活支援員を派遣する事業だが、市の見解を伺う。

答弁 根路銘福祉部長 本事業は沖縄県が県母子福祉連合会に委託、事前に登録が必要、登録申請窓口は各市町村で行っている。今後も制度の周知に努めたい。

質問 素晴らしい制度であり、本市でも事業実施する予定はあるか。

答弁 根路銘福祉部長 市民から要望があれば検討していく。

三 産業について

質問 「いちゅい具志川じんぶん館」分室の看板を掲げさせてもらえないか。

答弁 上間経済部参事 うるま市失業者対策アクションプラン策定業務の

中で検討したい。

四 環境について

質問 ①環金武湾地球温暖化対策連絡協議会の設置目的と活動状況について。②本市の省エネルギーの取組状況について。③住宅用太陽光発電システム等の導入に関する補助金制度について。

答弁 上間経済部参事 ①平成18年2月設立で行政、事業者、NPO、各種団体、地域住民で構成。活動の周知実践活動、会員の取組状況の発表。②ESCO事業の導入、本年度着工予定の公共施設等へ新エネルギー導入検討。③補助金制度については、今後検討していく。

五 教育について

質問 ①子ども議会について。②県立劇場の誘致について。③居所不明児童生徒について。④朝の読み聞かせ実施状況について。⑤教育委員会関係行事予定表の作成と全戸配布について。

答弁 照屋教育部長 ①うるま市議会との共催で12月26日開催予定。②県の文化発信拠点整備事業検討委員会の動向に注視しつつ、意見交換情報収集等を積極的に展開していく。⑤市民や地域団体が活用しやすい対応策を検討する。

③居所不明と

答弁 仲田指導部長 ③居所不明と確認された生徒はいない。④始業前全小学校実施(全18校)中学校は9校実施、1校準備中。(全10校)。



- 一 水道事業関係について
- 二 経済関係について
- 三 教育関係について
- 四 企画関係について
- 五 公園計画関係について

平

正盛



- 一 宮里区内側溝整備について
- 二 公園整備について
- 三 江洲第2区画整理事業と区画整理内第5公園について
- 四 児童館建設について
- 五 防災避難経路の見直しについて
- 六 高江洲小学校校舎改築について
- 七 廃校後の学校備品について

喜屋武力

一 水道事業関係について
質問 水道の漏水対策と有収率向上について伺う。
答弁 安慶名水道部長 平成21年度県内の事業体で漏水量は一番多く、漏水率は県内3番目である。

質問 漏水量を金額に換算すると、年間1億3千万程度の無駄遣いになるが、この漏水対策について伺う。
答弁 安慶名水道部長 水道局職員で構成する作業部会で調査、検証して漏水対策を策定、実施したい。

二 経済関係について
質問 イベントに関しては関係部署職員が積極的に参加して欲しい。
答弁 上間経済部参事 地域が独自に計画、開催するイベントに対して、人員の派遣等は行っていない。

三 教育関係について
質問 ①いじめ等について、教育委員会への対応を伺う。
答弁 仲田指導部長 小中学校では、毎月問題行動等の調査を行っている。
質問 ②うるま市は「いじめ問題」に関する連絡協議会「の様なものがあるか。」

答弁 仲田指導部長 本市は「不登校対策会議」を設置。実務者会議を毎週開催、不登校及び問題行動の未然防止、早期発見、早期解決を図っている。

質問 ③子供の学習意欲を家庭で伸ばす為の対策を伺う。
答弁 仲田指導部長 市の実践9項目にある家庭学習と授業の連動を掲げ、家庭学習の充実を図る取り組みを推進している。

質問 ④うるま市の平成23年度の高等学校への進学率は低い状況だが、この進学率について伺う。
答弁 謝敷教育長 本市の平成23年度の高専進学率は92・4%、全国約98%、県95%、中頭94%と比較しても低い状況。確かな学力向上を図る為、支援強化していきたい。

質問 ⑤うるま市では在籍4人（一世帯）目以降の小中生で388人を対象に給食費の無料（免除）が出来ないか。
答弁 仲田指導部長 免除は検討していない。

四 企画関係について
質問 「オスプレイ配備反対集会」を市で持つ計画は。
答弁 当間企画部長 うるま市実行委員会に諮りたい。

五 公園計画関係について
質問 ①天願川下流で未整備箇所は。
答弁 久田建設部長 新宇堅橋から港原橋の区間の「治水護岸整備事業」としては、整備済である。
質問 ②天願川河口辺りの環境調査も行っているか。
答弁 登川市民部長 市は年一回、生活環境項目のみを調査しており、環境基準達成状況はカドミウム、シアン、鉛等の27項目は基準値を達成。

質問 ③天願川河口辺りの植栽をする事が団体で可能か。
答弁 久田建設部長 河川管理者の中部土木事務所との許可のもと、地域ボランティア作業での植栽は、特に問題ないと考えている。

一 宮里区内側溝整備について
質問 平成23年3月議会でも取り上げ、幹線となる所から工事を進めるとの事だが、今後の取り組みを伺う。
答弁 久田建設部長 自治会との調整を図り地権者の施工同意後に整備を進めていきたい。

二 公園整備について
質問 江洲公園の整備進捗状況を伺う。
答弁 瀬高都市計画部長 ヌーリ川公園整備事業に着手し、平成29年度完了を目標、市の財政状況等を勘案し、早期実現に向け取り組んでいきたい。

三 江洲第2区画整理事業と区画整理内第5公園について
質問 第2区画整理事業の完了間近組合の解散の事務整理の進捗状況を伺う。
答弁 瀬高都市計画部長 8月31日に換地処分公告、法務局で登記事務が行われている。今年度中の事業完了を目指して進めている。組合解散までに順次管理の引き継ぎを行っている。

質問 一括交付金の活用で第5公園うまんちゅ広場の整備事業が実現したが、市の予算もつけて子供の遊具を設置して欲しいが。
答弁 瀬高都市計画部長 一括交付金の採択の範囲内で提言も含め、地域住民と意見交換会で要望等も取り入れ、整備を実施していきたい。

四 児童館建設について
質問 具志川中学校校区に交流学習

の場として地域の夢を叶えて欲しいが、児童館の建設計画の予定はあるか。
答弁 根路銘福祉部長 児童数も多く、理解はしているが、早急な対応は困難な状況。既存の自治会や公共施設で児童館機能整備を進めたい。

五 防災避難経路の見直しについて
質問 以前、仲嶺地域の児童が通学路に使用した道を修復すると、少ない経費で車の進入もなく、安全な避難経路だと思いが、考えを伺う。
答弁 喜納総務部長 現在の避難経路は地滑りなど危険箇所と重なる等、課題が確認されている。当該箇所が緊急一時避難路として適当かどうか、学校や自治会と協議し、前向きに検討したい。

六 高江洲小学校校舎改築について
質問 高江洲小学校の校舎は、一部改築から全面改装に出来ないか、県と協議してもらいたい。
答弁 照屋教育部長 ご指摘の通り、校舎改築は将来、増築も可能な建築計画が求められていると理解。校舎の全面改築とあわせ体育館、幼稚園の適切な配置で、学校敷地の効率的活用も図っていきたい。

七 廃校後の学校備品について
質問 使用可能な備品が残っているが、教育委員会は学校備品をどの様に処分するのか。
答弁 藏根指導部参事 彩橋小中学校や、他の学校、市役所、自治会に移管譲渡が終了、残りは管理保管し、状態の悪い物は廃棄していく。



一 学校整備について
 二 福祉行政について
 三 建設行政について
 四 水道事業について
 五 統合庁舎建設について
 六 基地問題について

伊盛サチ子

一 学校整備について

質問 老朽校舎、園舎、給食センター等の整備計画及び耐力度、耐震度調査の現状を伺う。

答弁 照屋教育部長 昭和56年以前の耐震化の必要な校舎等は小学校110校21棟、中学校5校6棟、幼稚園111園13棟。耐力度実施率は小学校57・1%、中学校66・7%、幼稚園38・5%である。

質問 耐震化の完了する時期、整備計画について。

答弁 照屋教育部長 平成28年度までに耐震化率目標を82・6%としており、財源計画等を勘案すると完了は平成30年あたりを考えている。

質問 福祉行政について

答弁 根路銘福祉部長 県が主導した場合、メリットも多い。県主導で導入作業を進めていく様要望している所である。次年度中の導入に向けて調整を行っていききたい。

質問 建設行政について

答弁 住宅リフォームの助成制度について。

答弁 久田建設部長 平成25年度から27年度の三か年を実施計画に要望している。

質問 ①漏水対策の抜本的改善に向けて 内部調査委員会の体制は。②外部専門委員会の設置について伺う。

答弁 安慶名水道部長 ①有収率向上対策委員会を設置し、9月3日付水道局全職員で構成する7作業部会を立ち上げ、業務スタートさせたところである。②施策の実施、検証を図り検討していききたい。

質問 支所体制は当然確保されるべき、どの様な方針か。

答弁 喜納総務部長 平成26年度地域総合窓口の業務検証を行い、27年度に向けた総合窓口の開設に万全を期したい。現状は市民により利便な形態を模索している段階で、具体案が示せない。

質問 オスブレイ配備反対、うるま市民大会の開催について。

答弁 当間企画部長 取り組みの期間は10月14日までの内容。行政スケジュールを踏まえ早急に市実行委員会に諮っていききたい。

質問 県民のオスブレイ配備反対の不退転の決意は県民大会で確認された。市長の所見を伺う。

答弁 島袋市長 新たな基地機能の強化には原則として反対、オスブレイ配備には今後とも明確に反対を表明していく。



一 台風被害について
 二 石川庁舎の設備について
 三 石川多目的ドームの駐車場について

石川 眞永

一 台風被害について

質問 台風16号は9月15日、16日の二日間、沖縄本島を暴風域に巻き込んだ。最接近時の高潮や大雨の影響で各地に多大な被害を与えた。浸水、土砂崩れ、家屋損壊等が報じられているが、本市の被害状況、また農水産物の被害について伺う。

答弁 喜納総務部長 現時点で防災担当が把握している主な被害状況は、健康支援センターうるまの立体駐車場の消火器ボックスの破損、屋外出入り口や2階正面ガラス戸の吹き込みによる浸水。津堅島の護岸の決壊。海の駅あやはし館の空調機2台故障、床上浸水が6件となっている。今回、事前に庁舎や自治会に自主避難された方々は具志川庁舎に1世帯4人、石川庁舎に2世帯3人、浜自治会に1世帯3人、比嘉自治会に4世帯10人、平安座自治会に5世帯9人となっており、16日の午後3時45分までには13世帯29人全員が帰宅をしている。

質問 石川多目的ドームの駐車場について

答弁 上間経済部参事 沖縄自動車道石川高架橋下を駐車場利用する事の占用協議を行っている。早めに許可をお願いをしている所であり、年度内に終了させる様頑張っている。

質問 石川庁舎の設備について

答弁 喜納総務部長 平成23年9月議会にて質問、要望のあった石川庁舎の洋式便器への取替えの件は、12月を目標に進めていく。

質問 多目的ドームでの催し物時に高速道路高架橋下を駐車場利用する件で、西日本高速道路沖縄営業所との交渉の進捗状況を伺う。

答弁 島袋経済部長 農作物について、JA沖縄の資料によると、中部地区全体でオクラが約3百万円、ゴーヤーが約70万円、ニンジンが約50万円となっている。アマサン、マン



兼本 光治

- 一 落書き防止条例の制定について
- 二 地元産品奨励等の優先使用について
- 三 与那城86号線について
- 四 屋慶名監視しよう戦争遺跡認定について

一 落書き防止条例の制定について

質問 うるま市内において、目に余る落書きが多く、防止対策の指導が出来ないか。

答弁 登川市民部長 現在、落書き防止には施設所有者の適正管理をお願いする事。落書きをされた、または落書きをしている所を見つけたらすぐに警察に連絡して頂く等の対応になると現時点で考えている。

質問 本市において落書きを徹底指導、強化を進めていく為にも、落書き防止条例の設置は特に重要と考えるが、条例設置についての当局の考えを伺う。

答弁 登川市民部長 県内市町村の動向を見ながら先進市町村の事例等を参考に検討を進めていきたいと考えている。

二 地元産品奨励等の優先使用について

質問 今回は給食センターの件で伺いたい。各学校給食センターでは現在、食材調達はどの様に行っているか伺う。

答弁 仲田指導部長 6つの共同調理場、1つの学校単独調理場の計7施設で約1万4千食の給食を提供している。その大半を占める基本物資、米穀、パン、麺類、牛乳、加工食品等は財団法人沖縄県学校給食会指定の市内業者を基本として、物資購入を行っている。

三 与那城86号線について

質問 この道路の延伸計画について、県道37号線、低地帯の屋慶名集落から高台にある県道8号線に抜ける与那城86号線の道路延伸計画について伺う。

答弁 久田建設部長 与那城86号線は、屋慶名の中心部を通り、高台にある勝連平安名に通ずる道路であり、防災避難道路として重要な位置にある事は認識している。本年度より計画している道路整備プログラムの中で、新たに県道37号線、屋慶名大通りから旧勝連向け県道8号線までの延伸整備を検討していきたい。

四 屋慶名監視しよう戦争遺跡認定について

質問 今回で2回目の質問になるが、進捗状況を伺う。

答弁 照屋教育部長 進捗状況については、平成24年3月14日に市文化財保護審議会を開催し、審議委員は屋慶名自治会長の案内で、現地視察を行っている。文化財保護審議会からは監視しようの保存状態が良好な事から、保存に向けての検討が必要であるとの意見が出されている。教育委員会としては、審議会の意見を受け現在、市内に所在する他の戦争遺跡も含めて、その保護、保存方法について情報収集と検討を行っている。



仲程 孝

- 一 冠水被害の対策について
- 二 島しょ地域における防災対策について
- 三 脱法ハーブ対策について
- 四 スクールソーシャルワークの現状と課題について

一 冠水被害の対策について

質問 西原、兼箇段両自治会より、連名にて農地冠水被害の対策について要請がされているが対応を伺う。

答弁 島袋経済部長 農業環境の改善を図る為には客土をして農地高を上げる事が得策だと考える。

質問 市民の生命、財産を守る立場からの冠水対策について具体的な方策は。

答弁 久田建設部長 冠水の要因の一つとなつて居る堰について、撤去等も含め、関係自治会と調整、改善につなげていきたい、また再度、現状を確認し、その他の冠水対策も含め検討したい。

二 島しょ地域における防災対策について

質問 津波対応の避難所としての比嘉小学校が閉校となり、今後の浜比嘉地域における避難所等の設置について伺う。

答弁 喜納総務部長 島内、海拔20Mの位置に立地するホテルや、その他の民間施設の活用なども含め、島の地理的環境等を考慮した上で、防災拠点を検証し位置づけしていきたい。
質問 今後、旧比嘉小学校校舎の大部分が解体された後に、津波に関する注意報、警報が発令された場合の市民の対応について伺う。

三 脱法ハーブ対策について

答弁 喜納総務部長 今後の市の跡利用などを踏まえて検討したい。

質問 児童生徒に対しての乱用防止と教育現場の対策について伺う。

答弁 仲田指導部長 中学校では、保健体育の授業で薬物乱用と健康について学習を行い今年7月の小中学校校長会、教頭会において違法ハーブ店の報告を受け、資料の提供と薬物乱用防止の特設授業の実施を指示している。

四 スクールソーシャルワークの現状と課題について

質問 本市の現状と課題について伺う。

答弁 仲田指導部長 本市雇用が3人、県から1人が配置されている。課題として、今後、資格保有者の人材不足などが挙げられる。

質問 今後、スクールソーシャルワーカーの待遇改善や増員について伺う。

答弁 仲田指導部長 業務に関する高い専門性、有効性が各学校でも認められつつあり、活用内容も充実してきている。今後もスクールソーシャルワーカーの配置及び増員、処遇改善について検討していく。



一 福祉行政について
二 教育行政について
三 防災行政について
四 道路行政等について
五 環境行政について

下門 勝

一 福祉行政について

質問 ケースワーカーの人数と一人当たりの担当件数を伺う。

答弁 根路銘福祉部長 現在、ケースワーカーは18人、その内3人は臨時職員で、一人当たり90件以上を担当している。

質問 現在の配置人数では、個々へのきめ細やかな対応が非常に厳しいと予想されるが、今後の職員増を含めて所見を伺う。

答弁 根路銘福祉部長 年々増加する被保護世帯に対し、現在の職員体制では対応が厳しい事も考えられる。新年度には職員、ケースワーカーの増員を要望したい。

二 教育行政について

質問 高江洲小学校プレハブ教室の天井が夏休み期間中に落下した。今後の学校施設の安全点検等の対策を伺う。

答弁 仲田指導部長 学校職員や施設職員の点検巡視では十分とは言えず、今後は専門業者による委託調査も考えている。

質問 児童の安全対策として、中学校の武道場は柔道用畳を使うべきと思うが。

答弁 仲田指導部長 畳が劣化し、硬化している所もあるので、安全面を考慮し調整していきたい。

三 防災行政について

質問 これまでも災害時の与勝地域の避難場所として勝連総合グラウン

ドの優位性や防災機能を備えた公園の必要性を訴えてきた。市民の生命を守る観点から、早急な整備が必要だと思いが、所見を伺う。

答弁 瀬高都市計画部長 勝連総合グラウンド整備について、これまでも再三取り上げられ熱意を感じている。都市計画部ではエイサー等の伝統芸能や文化交流に資する整備、魅力的な遊具の設置等、観光に特化した再整備事業を実施計画に要望し、企画部と調整している。当該再整備事業の採択に向けた取り組みの中で、防災機能を持たせた整備の可能性について検討していきたい。

四 道路行政等について

質問 地下ダム管理用道路は現在、子供達の登下校や車の往來が激しいなど、与勝地下ダム土地改良区の管理者も苦勞している。県の方も市に移管という考えもある様だが、今後市道認定し、拡幅整備等が出来るのか伺う。

答弁 島袋経済部長 今後、沖縄県や土地改良区と協議、調整を踏まえて検討したい。

質問 勝連南風原7班一帯の排水路について、環境衛生上の問題を含め、早急の整備の必要性を訴えてきたが、進捗状況を伺う。

答弁 久田建設部長 全体的な流域調査の結果を踏まえ、事業化に向けて進めたい。

質問 市道豊原5-43号及び市道塩屋5-44号線について、2月定例議会で認定された道路であるが、当局は現状を認識しているか。

答弁 久田建設部長 この2路線は大雨のたびに排水処理、のり面保護等に問題が生じている。

質問 擁壁工事については、県がやるという調整は進んでいるか。

答弁 久田建設部長 構造物での施工をしてもらいたい。それが終わらないと管理は引き継がないという、強い姿勢で臨みたい。



一 道路行政について
二 環境行政について

徳田 政信

一 道路行政について

質問 市道豊原5-43号及び市道塩屋5-44号線について、2月定例議会で認定された道路であるが、当局は現状を認識しているか。

答弁 久田建設部長 この2路線は大雨のたびに排水処理、のり面保護等に問題が生じている。

質問 擁壁工事については、県がやるという調整は進んでいるか。

答弁 久田建設部長 構造物での施工をしてもらいたい。それが終わらないと管理は引き継がないという、強い姿勢で臨みたい。

質問 排水路の件についても、一か所らやり直し検討させて欲しい。建設部長のコメントを頂きたい。

答弁 久田建設部長 地元の意向に沿った形で施工をしてもらいたい。強く要望していきたい。

質問 土地の境界線について、工事が始まると業者によって境界ぐいが取り払われて、境界がわからない状況があるが、この件について伺う。

答弁 久田建設部長 県の方に再度確認の意味で連絡をしてみたい。

質問 県道36号線バイパス、ななきす大橋の高架橋下の利活用について、県との調整について伺う。

答弁 瀬高都市計画部長 うるま市長から中部土木事務所長あて、県道36号線高架道路の高架橋下を占用し、活用を図りたい旨の要請書を提出した。中部土木事務所からは、承諾を頂いている。

質問 川田6-72号線は雨の後には道路が全く見えない状況がある。その解決策について伺う。

答弁 久田建設部長 ご指摘の様に県道整備の為、雨が降るたび道路が冠水している。年内には整備をしていきたい。

二 環境行政について

質問 米原地内の悪臭問題について、その後の状況について伺う。

答弁 登川市民部長 今年度は臭気指数調査を実施する。市民部では米原地区から陳情案件を関係部署へ打診している。

質問 公園、公共施設、児童館等いろいろの形の提案がなされ、担当部長として、全庁的に考えていきたいとの答弁があった訳だが、その後の検討結果を伺う。

答弁 瀬高都市計画部長 公園整備の優先順位や配置バランスを位置付ける公園整備プログラム策定事業を実施計画に要望し、ご提言の件については策定事業の中で、整備の必要性を含めて検討を行っていきたい。



宮城 茂

一 道路行政について
二 石川庁舎隣の多目的運動場の管理について
三 防災について

一 道路行政について

質問 市道石川65号線から(石川東山カントリークラブ駐車場横側)石川青少年の家の正門までの約100m間は道路幅員が狭く、また大雨の際には冠水する状況下にあるが、今後の整備計画等について伺う。

答弁 島袋経済部長 当該道路については、今のところ整備計画はないが、流末の排水が機能していない為冠水する状況なので、冠水の原因となつている流末箇所を改修、またアスファルトの補修を検討していきたい。

質問 この道路の拡張工事については十分出来ると思う。すぐには言わないが、ぜひその現場を確認して、検討もやって頂きたい、答弁を願う。

二 石川庁舎隣の多目的運動場の管理について

質問 グラウンドの草刈り及びトイレ清掃等について伺う。

答弁 照屋教育部長 グラウンドの維持管理については、生涯スポーツ課の職員が使用状況を見ながら、月

一回程度の草刈り等の維持管理を行っている。今後、利用者が快適に施設利用出来る様、定期的な草刈りと維持管理に努めていきたい。

答弁 瀬高都市計画部長 当該施設の2カ所のトイレの清掃及びごみの処理については、知的障がい者施設に基づき、月8回程度実施している状況である。今後とも市民が気持ちよく利用出来るように適切な管理に努めていきたい。

三 防災について

質問 個人所有地の危険箇所(がけ崩れ)等に対する行政の対応方について。

答弁 喜納総務部長 ご指摘の箇所は再崩落の危険性がある。私共としては、これまで同様に当該がけ地のパトロールを実施し、近隣住民ががけ地の崩落に巻き込まれない様に注意喚起を促していきたい。

答弁 久田建設部長 このがけ地については、県の方に現状を見てもらい事業化出来るか要請していきたい。また事業化出来るのか調整していきたい。



名嘉眞 宜徳

一 川崎山天願線116号線の整備計画について
二 川崎山天願線116号線の整備計画について
三 市道・農道の未買収道路用地について
四 安慶名区画整理事業について
五 水道局の漏水対策について
六 統合庁舎建設について

一 川崎山天願線116号線の整備計画について

質問 川崎区の入り口部分が狭隘になつていて不便である。未整備についてどの様に考えているか、当局の所見を伺う。

答弁 久田建設部長 川崎ルーシー河線道路整備事業の完了後の交通量等を見ながら事業化を検討したい。

質問 二市道・農道の未買収道路用地について 現況と地権者からの苦情・要請等も含めて伺う。

答弁 久田建設部長 市道未買収道路用地の面積、地権者数の現状については、平成24年度から26年度までの実施計画において事業採択を受けており、つづれ地を特定する為、地区ごとに実態調査を行っている。苦情・要請については、地権者から幾度となく早期買取りの要望がある。

質問 今後の対応について伺う。

答弁 久田建設部長 市道については、実態調査のとりまとめを早急に行い、財政状況を考慮しながら年次計画を定め、早期の買収に努めていきたい。

答弁 島袋経済部長 農道については農道台帳の作成を検討していく。用地買取り要請があった場合は計画的に購入出来る様、検討していく。

質問 三 安慶名区画整理事業について 瑞慶山通り、ベニヤ通りはか

つて県道からまっすぐに入口があつたが、今はすぐにはわからない。店も殆どがシャッターを下ろしている。この現状を当局はどの様に認識しているか伺う。

答弁 瀬高都市計画部長 県道からの直接的な入口がなく、お客が減つたという声がある事は認識している。

質問 残された商店街がもう少し活性化するように何らかの支援策が考えられないか伺う。

答弁 瀬高都市計画部長 商業化拠点に店舗が張り付き、以前の様な賑わいが復活し、瑞慶山通り、ベニヤ通りにも賑わいが繋がっていく様、商業関係者と連携し検討していく。

四 水道局の漏水対策について

質問 漏水を改善する為の資金をどのように確保していくのか伺う。

答弁 安慶名水道部長 漏水対策についての各種施策の提案や事業量を基に財政計画のシミュレーションを行い、自己財源及び各種起債事業等の活用について検討していく。

五 統合庁舎建設について

質問 統合庁舎建設を進める段階での作業に本当に反省点がなかったのか伺う。

答弁 島袋市長 基本構想の中でも企画の方で当初スタートした数値の掘り出しでミスがあつた。



宮里 朝盛

- 一 農業振興について
- 二 教育行政について
- 三 児童館建設の今後の計画について
- 四 避難道整備（喜仲―高江洲）について

一 農業振興について
質問 仲嶺地区の実態や状況を詳しく伺う。

答弁 島袋経済部長 当該地区の道路や排水路整備については平成24年度に現地調査を実施、事業の地域説明会を開催し地域の合意形成を図り、調査報告書を作成する計画。それを基に国、県と協議や調整を重ね、新規事業としての採択に向け取り組みたい。道路整備は農道整備のみの国庫補助事業での採択は厳しく、補助事業を導入して減歩により道路用地を生み出して整備する方が望ましいと考えている。

質問 当面の処置について伺う。

答弁 島袋経済部長 当面は道路路面の浸食箇所や素掘り排水の補修は維持管理工事に対応したい。

質問 この地域の冠水を整備する為に、中部土木事務所ともう一步踏み込んで要請をお願いしたいが。

答弁 久田建設部長 この件で中部土木事務所と協議したが、県道36号線パイパスの側溝は整備済で計画流域外からの排水流入は側溝断面の変更や、下流域の浸水の恐れもある等で接続は困難であり、県道への接続は出来なかった。

二 教育行政について
質問 文部科学省（2011年）の児童生徒の問題行動調査等について伺う。

答弁 仲田指導部長 調査の目的は文部科学省が生徒指導上の諸問題の現状を把握する事により、今後の施策の推進に資する為の調査で国、都道府県、市としてデータが送られてくる。発生した問題が国全体の問題か、県の特徴、学校独自のものか、その状況を把握し、それを踏まえ適切な指導が出来る。

三 児童館建設の今後の計画について
質問 児童館建設の今後の計画を伺う。

答弁 根路銘福祉部長 児童館建設については、具志川中学校区の地域行政懇談会で、中央公民館、復帰記念会館跡地を活用して建設して欲しいとの要望があった。建設に向けては財政的に課題が多く、早急な対応は困難な状況である。

質問 児童館建設未設置地域への建設計画を伺う。

答弁 根路銘福祉部長 中長期的な方針として、中学校区単位で整備を目標とする事を考えている。

四 避難道整備（喜仲―高江洲）について
質問 避難道整備について伺う。

答弁 喜納総務部長 東北地方の震災を受け複数の避難道経路等を整備の必要性を強く感じ、今年7月に策定の津波対策緊急事業計画は各自治会も協議を踏まえ、各地域の実情等を反映した計画内容。当該箇所も同計画に基づき、今後対応していきたい。



永玉 榮靖

- 一 道路整備について
- 二 東海岸開発基本計画について
- 三 廃校施設の跡利用等について
- 四 土地区画整理事業について
- 五 県事業関連について

一 道路整備について
質問 与那城地区農道整備について①工事承諾書取り付けをして農道整備を進める事は出来ないか。

答弁 島袋経済部長 関係地権者から舗装工事についての施工同意を取り付けてある。近い内、舗装工事を実施予定。

質問 ②市道99号線整備の現在の事業の説明と取り組み状況を伺う。

答弁 久田建設部長 工事は次年度と見込んでいる。実施計画の中で、平成25年度から27年度まで実施計画に事業再開の計画書提出、今の裁判関係が結審して解決したら補助事業を進めたい。

二 東海岸開発基本計画について
質問 ①市道17号線の整備に伴う筆界未確定事業を伺う。

答弁 当間企画部長 当該事業は25年度の債務負担行為をしており、平成25年度中に本事業を完了させる為取り組んでいる。

質問 ②遺跡調査について伺う。

答弁 照屋教育部長 藪地島遺跡は密度が高く、沖縄県の考古学史に欠かせない藪地洞窟遺跡ジャネーガマが存在する為、初めに藪地島から調査、その後平安座、浜比嘉、伊計島へ調査拡大予定。

三 県事業関連について
質問 ①与那城屋慶名くすもろ西原線の流末排水工事、農道及び市道88号線、44号線の工事の内容を伺う。

答弁 島袋経済部長 県においては既存排水へ取り付けは厳しい。整備済の与那城地区の排水路に取り付け整備の計画となっている。

質問 ②給水装置設備施工指針に反する箇所について伺う。

答弁 久田建設部長 水道管への問題の件は県が事業主体なので、県と水道局が協議。

答弁 安慶名水道部長 水道局は後の維持管理に支障のない様な形で施工していきたい。

質問 ③臨港道路与那城庁舎裏通りのガードレールが部分的に腐食して危険な状態、対応を伺う。

答弁 久田建設部長 県の単費で100m程は改修すると伺っている。年次的に整備を行っていききたいという事である。

四 廃校施設の跡利用等について
質問 現在の状況について伺う。

答弁 藏根指導部参事 地域からの意見や要望を取りまとめ、学校適正配置実施計画の中で基本方針の制定に向けて取り組んでいる。

答弁 喜納総務部長 今年度中に閉校施設の学校跡地跡施設利用基本方針を策定の予定。市公共施設等あり方検討委員会の中で、同基本方針の趣旨と内容等を踏まえ議論がなされると考える。

五 土地区画整理事業について
質問 照間から与那城福地一帯の調査費の予算計上の件を伺う。

答弁 瀬高都市計画部長 マスタープランの位置付けも十分留意、平成25年度の実施計画に強く要望し、取り組みたい。



大屋 政善

- 一 農業振興について
- 二 市道整備について
- 三 ヤンガリの管理について

一 農業振興について

質問 宮城島東土地改良区の水はけ対策について何う。

答弁 島袋経済部長 土地改良区からの要請を受け、抜本的な対策をする必要がある事から、県と調整して水質保全対策事業高度流出型より再整備を検討する事になっている。

質問 事業主体、地元の受益者負担があるのか何う。

答弁 島袋経済部長 事業主体は団体営では10ha以上、県営事業では20ha以上となっている。地元負担金については当事業の補助率は100%であり負担金は出ない。

質問 いつ頃の事業採択を予定しているか。

答弁 島袋経済部長 平成26年度に団体営調査設計事業を予定し、実施については平成27年度以降になる。

質問 土地改良区の市道36号、34号の整備について何う。

答弁 島袋経済部長 当該地区内には四路線の市道があり、農道のみは国庫補助事業の採択は厳しいと考える。

質問 市道としての整備は出来な

いか。

答弁 久田建設部長 農林サイドでやるか、市道でやるか両部で協議していきたい。

二 市道整備について

質問 宮城島部落内の市道29号線の整備について何う。

答弁 久田建設部長 現時点では計画は無いが、今後、財政当局、企画当局と調整しながら整備を検討していきたい。

質問 いつ頃に検討、答えがでるか。

答弁 久田建設部長 次年度の実施計画に要望出来るか調整していきたい。

三 ヤンガリの管理について

質問 ヤンガリのコンクリート屋根の剥離について何う。

答弁 照屋教育部長 教育委員会としては、地元の要請を受け、屋根の撤去と今後、ヤンガリを建築当初の姿に復元する事について検討していきたい。

質問 ヤンガリ上方の水流について、原因調査をお願いしたい。

答弁 照屋教育部長 ヤンガリ上方からの水流の原因については、地元の皆さんとも相談しながら対応していきたい。



平良 榮順

- 一 薬物乱用防止について
- 二 道路整備について
- 三 教育施設整備について
- 四 地域活動支援助成事業について

一 薬物乱用防止について

質問 県内における脱法ドラッグ乱用に関する事件、事故等について何う。

答弁 登川市民部長 事件、事故については2件である。救急病院や消防から疑いのあるものの搬送件数として平成23年10件、平成24年1月〜6月まで23件となっている。

質問 脱法ドラッグ乱用による検挙者の推移について何う。

答弁 登川市民部長 今年に入って3件、過去には事例がない。

質問 脱法ドラッグの販売が疑われる店舗は24店舗とされているが、内訳を何う。

答弁 登川市民部長 県は内訳を公表する事は控えたいとの事。9月24日現在13店舗で減少傾向だが、実情は店舗を構えずインターネット等で販売している業者が増えている。

質問 うるま市における脱法ドラッグ乱用に関する事件、事故について何う。

答弁 登川市民部長 現時点では確認されていない。

質問 あげな中学校区生徒指導連絡協議会から校区内販売所に関する取り締まり強化の要望書への対応について何う。

答弁 登川市民部長 関係機関と連携し、パトロールの強化と子供や市民へ薬物の危険性を知らせ、注意喚起する。うるま署は販売業者に対する指導、取り締まり、保健所との連携強化、教育委員会、学校との連携

で広報活動を行っている。

二 道路整備について

質問 市道宇堅2088号線の雨水排水路整備について何う。

答弁 久田建設部長 対策は早めに行う。

三 教育施設整備について

質問 天願小学校体育館建築について、校舎建築と同時進行で適正配置が出来ると考えるが。

答弁 照屋教育部長 平成25年度の基本及び実施設計の段階から校舎と体育館の適切な配置計画により、事業実施出来る様検討する。

質問 幼稚園園舎の整備について何う。

答弁 照屋教育部長 天願幼稚園も耐力度調査等の結果を踏まえ整備について検討していきたい。

四 地域活動支援助成事業について

質問 これまでの事業実績と成果について何う。

答弁 当間企画部長 平成23年度、11団体に約209万円交付、地域課題の解決や地域活性化しようとしている団体を支援している。これまで独自で取り組んできた活動がより活発になるほか、地域活動への関心を高める成果がある。

質問 事業の拡充について何う。

答弁 当間企画部長 今年度は募集12団体に対し、応募が19団体と増加している事から、助成団体の拡充を含め、多くの団体に助成出来る仕組み作りも検討を行いたい。



一 鉄軌道の那覇〜うるま市ルートの実現計画について

二 知育・徳育・体育及び食育に加えて感育の5育として、自然環境保全等も含めた調和のとれた児童・生徒の育成について

三 市民協働のまちづくりの推進について

照屋 義正



一 いじめ問題について

二 議場の活用について

三 基地問題について

四 子ども（乳幼児）医療費助成制度について

又吉 法尚

一 鉄軌道の那覇〜うるま市ルートの実現画について

質問 ①私達会派「かけはし」は3年前から内閣府に行った時の要請で那覇〜うるま市ルート設定の要請をしてきたが、市の考え方と方針について伺う。

答弁 当問企画部長 県交通体系のルート案ではうるま市が除外される様な表示となっているので、本市を含むルート案に変更して欲しいとの意見書を提出し、計画策定では素案ルートの修正が加えられ本市を經由するイメージ図に変更されている。

質問 ②本市ルートの実現は大きな課題であり、市民大会、シンポジウムの開催について市の考え方と方針を伺う。

答弁 当問企画部長 市民大会、シンポジウムの開催について、鉄軌道の機運を高める為の取り組みを進めていく。

二 知育・徳育・体育及び食育に加えて感育の5育として、自然環境保全等も含めた調和のとれた児童・生徒の育成について

質問 施政方針、教育行政の中には四育は謳われているが、感育を加えた五育の指導について伺う。

答弁 仲田指導部長 議員提案の感育は新学習要領の道徳特別活動の内容に含まれている。

質問 文科省認可の家庭倫理会では「雨土の恵みと、多くの働く人々に

感謝して命のもとを謹んでいた、皆さま」と口上している。皆さんからは入っているかもしれないが、子供達はそこまで気づききれないかどうかである。従って知・徳・体にあわせて感育というものを活字に入れる事によって、受け取り方が違うと思う。

答弁 謝敷教育長 地・徳・体の調和のとれた教育の中に外から持ってきて入れる事は厳しいものがある。

三 市民協働のまちづくりの推進について

質問 ①市管理の公園数と自治会管理の公園数について伺う。

答弁 瀬嵩都市計画部長 市が維持管理している数は82公園。自治会が維持管理している公園は14公園である。

質問 ②ヌーリ川の桜並木についてその嵩上げをしてもらわないと大変であるが、やっていただけないか。

答弁 久田建設部長 ヌーリ川の間知ブロック護岸の天端に擁壁を設置して、フェンスを移動すれば桜を管理する上で安全であるという事から整備をして欲しいとの質問を以前から受けている。ヌーリ川桜会は、この桜並木を市の観光名所にしたと頑張っている事から、市としても今後、桜の管理がしやすい様に、田場橋から下流に向かって右岸側から年次的に、予算の範囲内ではあるが進めていきたい。

一 ついめ問題について

質問 昨年一年間、市内小中学校におけるいじめの件数は。

答弁 仲田指導部長 平成23年度は小学校4件、中学校16件の報告がある。

質問 子ども達の心の叫び、いじめのSOSを発見する為にも、いじめの有無を調査するアンケートの実施が必要では。

答弁 仲田指導部長 本市の小中学校では学校独自で生活アンケートを実施、児童生徒の普段の生活の様子、悩み、相談等の把握に努めている。

二 議場の活用について

質問 うるま市子ども議会を毎年開催が無理としても中学生が卒業する三年に一回の開催が可能か。

答弁 照屋教育部長 三年に一度の実施に向けて検討していきたい。

質問 石川、与那城、勝連庁舎の議場は、何に利用しているか。

答弁 喜納総務部長 石川の議場は沖縄県に賃貸、与那城の議場は文書の保管場所、勝連の議場は書類保管場所として活用。

質問 議場を利用し市民の会議室的活用、中学生、受験生の自習室的活用が可能か。

答弁 喜納総務部長 統合庁舎建設に伴う、各庁舎の利用の検討と併せて議論する。

三 基地問題について

質問 世界各地で墜落事故がある欠陥機オースプレイ、本市上空を飛ぶ事は必ず事件、事故を招くと断言する沖縄の空を飛んだとしても本市の上

空、学校、住宅地の真上は絶対に飛ばさず、飛ばさないと宣言し、政府に対し抗議し続ける必要があると思うか。

答弁 当問企画部長 市民の安全確保と不安を払拭する為、人口密集地の上空飛行を回避するとの安全確保策に関する覚書の遵守を継続的に日米両政府に訴えていく。

質問 航空機騒音測定器3台の購入予定日、設置予定日と設置場所を伺う。

答弁 当問企画部長 今年度中に設置、次年度から騒音測定を開始予定。設置場所は本庁舎、芸術劇場、与勝中学校の3カ所を予定。

質問 今後市内全域によるコンタクト地域の実態調査を当局が騒音測定器を更に増設し、積極的に取り組む事項と思う、所見を伺う。

答弁 当問企画部長 次年度から実施するコンタクト地域外の測定結果や騒音計が移動可能である事等も踏まえ、今後増設が必要か検討する。

四 子ども（乳幼児）医療費助成制度について

質問 現在3歳までの通院費助成を止めて、就学前まで拡充出来ないか。

答弁 根路銘福祉部長 4歳以上の助成は県の補助対象外、市単費対応となり財政的負担も大きく実施に至っていない。今後の検討課題。

※他に「スクールバス運行について」「母子父子家庭への手当・児童扶養手当について」「エリアメールについて」質問しました。



一 山城ウブガラの排水路について
二 庁舎間バスについて
三 市営住宅について

伊波 良紀

一 山城ウブガラの排水路について

質問 現在、上流側からの雨水等を処理する為、ウブガラの前を通り、下流側に排水している。しかし下流側につなぐ山城ウブガラの前面の横断管が詰まり、雨が降る度に周辺が冠水している。前回この件について冠水対策は必要で検討すると答弁しているがその後どの様に検討したか。また横断管は個人有地を通っているこの対策についても伺う。

答弁 久田建設部長 ヒューム管を敷設している土地の地権者に大変ご迷惑をかけている状況。市としては早急に隣接の里道への敷設替えの排水路整備事業を平成25年度実施計画へ要望している。

二 庁舎間バスについて

質問 この庁舎間連絡バスは、車のない市民や高齢者・障がい者・交通弱者の移動手段として助かっている。しかし反面、利用者からは利便性が悪い、利用者側にとって運用を考えると欲しいとの声もあるが、検討出来るか。

答弁 登川市民部長 交通空白地域に住む方や交通弱者の移動手段の確保は重要な課題。次年度からコミュニティバスで再検討する予定。

三 市営住宅について

質問 生活弱者と言われる高齢者や障がい者の方々が入居する場合、バリアフリー等に配慮した建物が見えないか。

答弁 久田建設部長 バリアフリー等の整備は必須であり、長寿命化計画に基づき、改修整備を進めたい。

一 「ふれあいの翼」事業について

質問 感想を伺う。

答弁 謝敷教育長 自主性や責任感を培い、ホームステイ先の風習や文化に触れ人間性の成長に大きな成果をもたらした。

二 読書環境の整備について

質問 学校図書標準化達成状況は。

答弁 仲田指導部長 17小学校のうち13校が100%、2校が85%以上、1校が65%以上、残り1校が50%以上となっている。

三 盛岡市の取り組みを参考に

質問 盛岡市の取り組みを参考に、盛岡市の活性化に向けたイベントについて

答弁 仲田指導部長 職員定員適正化計画に基づき検討したい。

四 川内自治会からの海岸線の掃除への対応は。

答弁 久田建設部長 行政懇談会後、早速現場を調査し、人力での撤去作業が非常に困難と確認している。

五 防災総務部長 里道も高台に通じる緊急避難路として整備を図りたい。

答弁 喜納総務部長 里道も高台に通じる緊急避難路として整備を図りたい。



「ふれあいの翼」事業について
読書環境の整備について
盛岡市の取り組みを参考に
ふるま市の活性化に向けたイベントについて
防災行政についての
地域懇談会での自治会からの
要請について
田仲 康和

一 「ふれあいの翼」事業について

質問 感想を伺う。

答弁 謝敷教育長 自主性や責任感を培い、ホームステイ先の風習や文化に触れ人間性の成長に大きな成果をもたらした。

二 読書環境の整備について

質問 学校図書標準化達成状況は。

答弁 仲田指導部長 17小学校のうち13校が100%、2校が85%以上、1校が65%以上、残り1校が50%以上となっている。

三 盛岡市の取り組みを参考に

質問 盛岡市の取り組みを参考に、盛岡市の活性化に向けたイベントについて

答弁 仲田指導部長 職員定員適正化計画に基づき検討したい。

四 川内自治会からの海岸線の掃除への対応は。

答弁 久田建設部長 行政懇談会後、早速現場を調査し、人力での撤去作業が非常に困難と確認している。

五 防災総務部長 里道も高台に通じる緊急避難路として整備を図りたい。

答弁 喜納総務部長 里道も高台に通じる緊急避難路として整備を図りたい。

六 地域懇談会での自治会からの要請について

質問 川内自治会からの海岸線の掃除への対応は。

答弁 久田建設部長 行政懇談会後、早速現場を調査し、人力での撤去作業が非常に困難と確認している。

七 久田建設部長 行政懇談会後、早速現場を調査し、人力での撤去作業が非常に困難と確認している。

答弁 喜納総務部長 里道も高台に通じる緊急避難路として整備を図りたい。

八 喜納総務部長 里道も高台に通じる緊急避難路として整備を図りたい。

答弁 喜納総務部長 里道も高台に通じる緊急避難路として整備を図りたい。

九 喜納総務部長 里道も高台に通じる緊急避難路として整備を図りたい。

答弁 喜納総務部長 里道も高台に通じる緊急避難路として整備を図りたい。



- 一 福祉行政について
- 二 道路行政について
- 三 農林水産事業について
- 四 防犯灯について

喜屋武正伸

一 福祉行政について

質問 放課後児童クラブ支援事業の内容について伺う。

答弁 根路銘福祉部長 事業内容はコーディネーターを2人配置して、市内の放課後児童クラブに対する指導、助言や市学童保育連絡協議会の活動支援を行う事で、放課後児童クラブの資質向上を図ると共に、地域子育て活動支援事業の円滑な実施が出来る様、地域の支援や調整等を行っていく事業である。今年度の具体的な内容としては研修会の開催、児童クラブ環境整備事業等の補助金支出に関する支援や地域子育て活動支援事業の推進の為、自治会との調整を行っていきたい。

質問 配慮を要する子の巡回指導事業の内容について伺う。

答弁 根路銘福祉部長 近年は配慮を要する子が増加傾向にある為、嘱託員が市内全保育園の職員を対象に相談等に対する助言、支援を行うもので、保育の質の向上を図りながら集団生活を通し、対象児がともに成長出来る環境を作り出していく事を目的に実施するものである。

二 道路行政について

質問 高江洲小学校東側市道の歩道設置について伺う。

答弁 照屋教育部長 校舎等の整備

と併せて運動場も含めた全体配置計画の中で担当部署とも協議しながら検討したい。

質問 上江洲中央線道路整備事業の進捗状況について伺う。

答弁 久田建設部長 総事業費が6億7千万円で期間が平成19年から平成28年を予定している。現在の進捗率は50%となっている。

三 農林水産事業について

質問 農水産業振興戦略拠点整備事業の進捗状況について伺う。

答弁 島袋経済部長 農水産物流通加工拠点を整備するもので、一括交付金を活用し、今年度は拠点施設の可能性や方向性を分析、検討する為の事業計画書の策定委託業務を発注し、次年度に測量、施設設計、用地取得を行い平成26年度には外溝工事、建築工事を実施する計画となっている。

四 防犯灯について

質問 江洲小学校東側市道のソーラー式防犯灯の整備について伺う。

答弁 登川市民部長 ソーラー式防犯灯という事で設置されているが、高さも低く照明の機能も疑問を持っている。担当部署で道路の拡幅を検討しているという事なので、それにあわせて検討したい。

一 沖縄振興策について

質問 平成24年度の一括交付金の内容と市の事業を伺う。

答弁 当間企画部長 産業・観光・農林水産の振興等に35事業で防災基地対策などに6事業。更に子育て支援・福祉等に3事業。学力向上等の9事業で合計53事業について予算を計上。

質問 検証と評価について。

答弁 当間企画部長 一括交付金の趣旨を踏まえ、市民所得の向上と失業率の改善を図る等を目的に幅広く活用する事が出来た。

質問 今後の一括交付金の活用を伺う。

答弁 当間企画部長 交付要綱を踏まえ、本市の重要課題の解決に向けた活用を行う。また総合計画や5つの重要課題を設定して有効的に活用していく。25年度は第9回実施計画の事業採択において交付要綱の趣旨に照らし合わせて事業を推進していく。

二 公民館機能と児童館の併用について

質問 公民館建設に対する児童及び地域コミュニティモデル事業について。

答弁 根路銘福祉部長 今後、公民館建設予定等に併用される事は地域の拠点施設になり、更に公民館で児童館的なモデル事業が実施出来る事は市の方針でもあり、希望する地域があれば実施に向け取り組みたい。

質問 予算の裏付けが出来るのか。

答弁 根路銘福祉部長 県の一括交付金事業である沖縄県放課後児童クラブ支援事業のメニューで公的施設移行等促進事業の活用を検討したい。

答弁 登川市民部長 公民館が児童館機能を有した形で建設する事を、その予算等を含め地元自治会や沖縄防衛局と調整したい。

三 経済対策について

質問 一括交付金を活用した雇用対策と失業対策について伺う。

答弁 上間経済部参事 本年度はうるま市地域雇用人材育成事業や街角コンタクトセンター設置運営事業、失業対策アクションプランの3つの事業が失業対策事業である。平成25年度は24年事業を踏襲し、更に対策を図る。

四 教育環境について

質問 学力向上対策について伺う。

答弁 仲田指導部長 教育委員会では県の目標を受け幼児、児童、生徒の学力を5年以内に中頭、県平均以上に引き上げると目標を立て取り組みを推進する。

質問 具志川東中学校校舎及び体育館の改築について伺う。

答弁 照屋教育部長 耐震診断調査を本年の第9回実施計画に要望し、実施に向けて取り組む。

質問 具志川東中学校は今の基準値の適正規模が満たされているか伺う。

答弁 照屋教育部長 校舎の保有面積は不足であり、体育館保有面積は足りている。



- 一 沖縄振興策について
- 二 公民館機能と児童館の併用について
- 三 経済対策について
- 四 教育環境について

中村正人

一 沖縄振興策について

質問 県の一括交付金事業である沖縄県放課後児童クラブ支援事業のメニューで公的施設移行等促進事業の活用を検討したい。

答弁 登川市民部長 公民館が児童館機能を有した形で建設する事を、その予算等を含め地元自治会や沖縄防衛局と調整したい。

三 経済対策について

質問 一括交付金を活用した雇用対策と失業対策について伺う。

答弁 上間経済部参事 本年度はうるま市地域雇用人材育成事業や街角コンタクトセンター設置運営事業、失業対策アクションプランの3つの事業が失業対策事業である。平成25年度は24年事業を踏襲し、更に対策を図る。

四 教育環境について

質問 学力向上対策について伺う。

答弁 仲田指導部長 教育委員会では県の目標を受け幼児、児童、生徒の学力を5年以内に中頭、県平均以上に引き上げると目標を立て取り組みを推進する。

質問 具志川東中学校校舎及び体育館の改築について伺う。

答弁 照屋教育部長 耐震診断調査を本年の第9回実施計画に要望し、実施に向けて取り組む。

質問 具志川東中学校は今の基準値の適正規模が満たされているか伺う。

答弁 照屋教育部長 校舎の保有面積は不足であり、体育館保有面積は足りている。



一 友好都市盛岡市について
二 有害鳥獣の被害について
三 市道整備について

幸地 政和

一 友好都市盛岡市について

質問 まちづくり市民交流事業と中学校交流事業の内容について何う。

答弁 当間企画部長 まちづくり市民交流事業は青年会議所や商工会、観光物産協会が交流の在り方をまとめ提案する。中学校交流事業は歴史や文化、生活習慣を見聞し、将来の交流を担う人材を育成する目的である。

質問 沖縄ハンギングバスケットフエア、全国ハンギングバスケットフエアの考え方について何う。

答弁 上間経済部参事 ハンギングバスケットが観光まちづくりの有効手段であり、検討してみたい。

二 有害鳥獣の被害について

質問 カラス、イノシシ等の有害鳥獣による被害状況について何う。

答弁 鳥袋経済部長 キャベツ、みかん、サトウキビ等の被害は36トンドで418万円、県内の被害は1億9千万円である。

質問 有害鳥獣被害防止対策について何う。

答弁 鳥袋経済部長 沖縄県鳥獣被害防止総合対策交付金を活用して、被害防止対策を実施する。

三 市道整備について

質問 ①市道延長に対する改良延長と改良率、舗装延長と舗装率について何う。

答弁 久田建設部長 改良延長31万8千193m、改良率73・1%、舗装延長39万4千649m、舗装率90・7%である。

質問 総合計画で市道改良率目標75・4%、あと2・3%実行する責任があると考え。目標達成の所見を何う。

答弁 久田建設部長 財政状況の厳しさを事業同意の難しさがある。

質問 ②供用開始している未舗装路線の整備計画の考え方と市道路線の見直しについて何う。

答弁 久田建設部長 舗装されていない路線は145路線で、市民の身近な道路であり、防災避難道路を考慮して舗装整備計画を策定する。市道路線の廃止は考えていない。

質問 ③生活道路の未舗装率と4m以下の生活道路、狭隘部分の解消について何う。

答弁 久田建設部長 未舗装道路は115路線、未舗装率22・8%。狭隘道路の解消は防災上、生活環境面からも重要である。課題の整理に取り組んでいきたい。



一 市職員の採用について
二 市営団地について
三 市と関係ある企業、団体等の雇用について
四 雇用について(表彰等)

久高 唯昭

一 市職員の採用について

質問 平成21年〜23年度の市職員採用試験の受験者数と採用の人数は。

答弁 喜納総務部長 平成21年度の受験者数は377人で採用が34人。平成22年度の受験者数は429人で採用が20人。平成23年度の受験者数は467人で採用が23人である。

質問 市職員に採用された者の市内外の内訳を何う。

答弁 喜納総務部長 平成21年度の試験で22年度に採用された34人のうち市内29人市外5人、市内の割合85・3%。平成22年度の試験で23年度に採用された20人のうち市内17人、市外3人、市内の割合85・0%。平成23年度の試験で24年度に採用された23人のうち市内18人、市外5人、市内の割合78・3%。

二 市営団地について

質問 団地の入居率が100%なので、新団地の建設や増築をすべきと考えるが。

答弁 久田建設部長 新たな団地建設、新設の団地建設や増築の予定はない。

質問 国勢調査で市内の失業率18・2%、41市町村の中でワーストナンバーワン。この様な中で、家賃が生活費の中で大きなウエイトを占める市民も少なくないと思う。そこで比較的家賃の安い団地建設が必要と考えるが。

答弁 久田建設部長 今後団地の立

替計画では、周辺の民間アパートを圧迫する事が無い様配慮し基準の範囲内で戸数の割り増しも考えている。国の住宅政策の方向性から、新たな市営住宅の建設は厳しい。

三 市と関係ある企業、団体等の雇用について

質問 市と関係ある企業、団体等へ地元雇用促進の働き掛けを要望したが。

答弁 上間経済部参事 全部ではないが委託事業において市内在住者の雇用の義務付け、地元雇用の依頼等を実施している。

四 雇用について(表彰等)

質問 平成17年〜22年の5年間に失業率14・5%〜18・2%に、この失業率に市は全庁的な取り組みをして雇用拡大の為、仮称「雇用対策特別委員会」を立ち上げて欲しい。

答弁 上間経済部参事 平成22年度の国勢調査速報で完全失業率18・2%が公表された5月に、第1回うるま市緊急雇用対策本部会議を開催、6月に第2回を開催。

質問 失業率を少なくする為、仮称「雇用対策特別委員会」を設置して欲しいが。

答弁 上間経済部参事 現在、本市では雇用対策の総括機能を有する緊急雇用対策本部会議が設置され、失業率改善の取り組みをしており、改めて別途組織を立ち上げる事は想定していない。

平成 24 年 8 月第 71 回うるま市議会（臨時会）議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
議案第 48 号	平成24年度うるま市一般会計補正予算（第3号） (補正額：505,236千円 補正後予算：46,842,060千円)	市長	8月28日	原案可決

平成 24 年 9 月第 72 回うるま市議会（定例会）議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
認定第 1 号	平成23年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について (歳入47,706,926,335円 歳出46,332,462,009円 差額1,374,464,326円)	市長	10月4日	認定
認定第 2 号	平成23年度うるま市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について (歳入16,685,129,975円 歳出18,468,793,569円 差額△1,783,663,594円)	〃	〃	〃
認定第 3 号	平成23年度うるま市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について (歳入2,369,414,938円 歳出2,346,982,431円 差額22,432,507円)	〃	〃	〃
認定第 4 号	平成23年度うるま市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について (歳入7,621,695,827円 歳出7,431,882,887円 差額189,812,940円)	〃	〃	〃
認定第 5 号	平成23年度うるま市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について (歳入18,176,895円 歳出17,821,087円 差額355,808円)	〃	〃	〃
認定第 6 号	平成23年度うるま市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について (歳入760,169,338円 歳出753,234,267円 差額6,935,071円)	〃	〃	〃
認定第 7 号	平成23年度うるま市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	〃	〃	原案可決 及び認定
報告第 8 号	平成23年度決算に基づくうるま市健全化判断比率及び資金不足比率 の報告について	〃	9月18日	報告
報告第 9 号	専決処分の報告について（車両事故）	〃	〃	〃
議案第 49 号	うるま市男女共同参画都市宣言について	〃	10月4日	原案可決
議案第 50 号	津堅辺地総合整備計画の変更について	〃	〃	〃
議案第 51 号	訴えの提起について（建物明渡等請求事件）	〃	〃	〃
議案第 52 号	物品の取得について（原子力艦防災活動資機材購入） (契約金額：25,504,500円)	〃	〃	〃
議案第 53 号	伊波小学校校舎増改築工事（建築1工区）請負契約について (契約金額：520,642,500円)	〃	〃	〃
議案第 54 号	伊波小学校校舎増改築工事（建築2工区）請負契約について (契約金額：496,524,000円)	〃	〃	〃
議案第 55 号	平成24年度うるま市一般会計補正予算（第4号） (補正額：2,973,167千円 補正後予算：49,815,227千円)	〃	9月25日	〃
議案第 56 号	平成24年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算（第2号） (補正額：△31,826千円 補正後予算：19,325,342千円)	〃	10月4日	〃
議案第 57 号	平成24年度うるま市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） (補正額：10,144千円 補正後予算：770,423千円)	〃	〃	〃
議案第 58 号	平成24年度うるま市介護保険特別会計補正予算（第1号） (補正額：196,148千円 補正後予算：8,041,661千円)	〃	9月25日	〃

平成 24 年 9 月第 72 回うるま市議会（定例会）議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
議案第 59 号	平成24年度うるま市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号） （補正額：354千円 補正後予算：16,463千円）	市長	10月4日	原案可決
議案第 60 号	平成24年度うるま市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号） （補正額：18,969千円 補正後予算：2,469,081千円）	//	//	//
議案第 61 号	うるま市石油貯蔵施設立地対策等交付金基金条例 （石油貯蔵施設立地対策等交付金の効果的かつ効率的な利用を図るための条例）	//	//	//
議案第 62 号	うるま市固定資産税の課税免除に関する条例（「うるま市固定資産税の課税免除の特例に関する条例」の全部を改正する条例） （沖縄振興特別措置法の改正に伴う条例改正）	//	//	//
議案第 63 号	うるま市立地企業の支援に関する条例（「うるま市企業立地促進条例」の全部を改正する条例） （沖縄振興特別措置法の改正に伴う条例改正）	//	//	//
議案第 64 号	うるま市附属機関設置条例の一部を改正する条例 （うるま市勝連城跡周辺整備計画策定委員会を設置するための条例改正）	//	//	//
議案第 65 号	うるま市火災予防条例の一部を改正する条例 （「対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令」の一部改正に伴う条例改正）	//	//	//
発議第 7 号	駐留軍関係離職者等臨時措置法の有効期限延長に関する意見書	仲程孝議員他7人	//	//
発議第 8 号	地方財政の充実・強化を求める意見書	仲程孝議員他7人	//	//
発議第 9 号	「しまくとぅば」の普及促進に関する宣言決議	下門勝議員他7人	//	//
発議第 10 号	教職員定数法改正による「30人以下学級実現」のための意見書	又吉法尚議員他7人	//	//
発議第 11 号	「義務教育費国庫負担制度」の堅持・拡充に関する意見書	佐久田悟議員他7人	//	//
陳情第 22 号	要請書	住宅防音対策地域連絡会 会長 親川厚	//	採択
陳情第 33 号	「しまくとぅば」の普及促進に関する宣言決議要請	那覇市文化協会会長 城間雨邨	//	//
陳情第 34 号	駐留軍関係離職者等臨時措置法の有効期限延長に関する陳情	全駐留軍労働組合沖縄 地区本部執行委員長 與那覇栄蔵	//	//
陳情第 35 号	県産品の優先使用について（要請）	公益社団法人 沖縄工業連合会 会長 湧川昌秀	//	//
陳情第 36 号	地元産品奨励及び地元企業優先使用について（要請）	うるま市商工会会長 山城和正	//	//
陳情第 39 号	「30名以下学級」早期完全実現に関する陳情	沖縄県教職員組合 中頭支部執行委員長 嘉手刈直	//	//
陳情第 42 号	陳情書	自治労うるま市職員 労働組合執行委員長 宮城紀章	//	//

平成 24 年 10 月第 73 回うるま市議会（臨時会）議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
発議第 12 号	米海軍兵による暴行致傷事件に関する意見書	宮里朝盛議員他10人	10月23日	原案可決
発議第 13 号	米海軍兵による暴行致傷事件に関する抗議決議	//	//	//

米海軍兵による暴行致傷事件に関する意見書

米本国海軍航空基地に所属する2人の米海軍兵が、10月16日未明、本島中部において、帰宅途中の女性に暴行を加え負傷させたうえ、女性の所持品を持ち去った容疑で逮捕される凶悪事件が発生した。

今回の米海軍兵による蛮行は、女性の尊厳と人権を蹂躪し、住民の平穏な生活を脅かすものであり、県民から激しい怒りと憤りが噴出している。

去る8月にも那覇市において、海兵隊員による強制わいせつ致傷事件があったばかりだが、今回の事件を起こした2人の米海軍兵は、次の任務地であるグアムへ事件の数時間後に出発する予定だった。この事は日米地位協定の米軍人の優先を保障する事を利用した悪質極まりない確信犯的凶行である。

沖縄県民は、戦後67年を経た今もなお、基地から派生する事件・事故等により多くの犠牲と過重な負担を強いられている状況下であり、度重なる米兵による凶悪事件の発生は、日米両政府がいかなる再発防止策や綱紀粛正をいくら強調しても事件や事故が繰り返されることを如実に証明するものである。

いま、沖縄県民が、自らの生命と安全を守るために、心をひとつにして、オスプレイの強行配備に反対していることは、この幾多の基地被害の歴史的体験を踏まえたものであることを日米両政府は真摯に受け止めるべきである。

よって、うるま市議会は、市民と県民の人権、生命、財産を守る立場から、今回の2人の米海軍兵による蛮行・凶悪事件に関し、渾身の怒りを込めて、厳重に抗議するとともに関係機関に対して、下記事項の徹底、実現を強く求める。

記

1. 加害者に対する厳正な処罰と被害者への完全補償と心のケアを行うこと。
2. 市民と県民が安心して生活できる実効性のある抜本的な再発防止策を講じること。
3. 米軍関係者の優先を保障する不平等な「日米地位協定」の抜本的な見直しを図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年10月23日
沖縄県うるま市議会

あて先

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 沖縄及び北方対策担当大臣
外務省沖縄担当大使 沖縄防衛局長

米海軍兵による暴行致傷事件に関する抗議決議

米本国海軍航空基地に所属する2人の米海軍兵が、10月16日未明、本島中部において、帰宅途中の女性に暴行を加え負傷させたうえ、女性の所持品を持ち去った容疑で逮捕される凶悪事件が発生した。

今回の米海軍兵による蛮行は、女性の尊厳と人権を蹂躪し、住民の平穏な生活を脅かすものであり、県民からは激しい怒りと憤りが噴出している。

去る8月にも那覇市において、海兵隊員による強制わいせつ致傷事件があったばかりだが、今回の事件を起こした2人の米海軍兵は、次の任務地であるグアムへ事件の数時間後に出発する予定だった。この事は日米地位協定の米軍人の優先を保障する事を利用した悪質極まりない確信犯的凶行である。

沖縄県民は、戦後67年を経た今もなお、基地から派生する事件・事故等により多くの犠牲と過重な負担を強いられている状況下であり、度重なる米兵による凶悪事件の発生は、日米両政府がいかなる再発防止策や綱紀粛正をいくら強調しても事件や事故が繰り返されることを如実に証明するものである。

いま、沖縄県民が、自らの生命と安全を守るために、心をひとつにして、オスプレイの強行配備に反対していることは、この幾多の基地被害の歴史的体験を踏まえたものであることを日米両政府は真摯に受け止めるべきである。

よって、うるま市議会は、市民と県民の人権、生命、財産を守る立場から、今回の2人の米海軍兵による蛮行・凶悪事件に関し、渾身の怒りを込めて、厳重に抗議するとともに関係機関に対して、下記事項の徹底、実現を強く求める。

記

1. 加害者に対する厳正な処罰と被害者への完全補償と心のケアを行うこと。
2. 市民と県民が安心して生活できる実効性のある抜本的な再発防止策を講じること。
3. 米軍関係者の優先を保障する不平等な「日米地位協定」の抜本的な見直しを図ること。

以上、決議する。

平成24年10月23日
沖縄県うるま市議会

あて先

駐日米国大使 在日米軍司令官 在日米軍沖縄地域調整官 在日米海軍司令官
在沖米海軍艦隊活動司令官 在沖米国総領事

うるま市議会 抗議文書を手交

去った10月23日（火）第73回うるま市議会臨時会において、米海軍兵による暴行致傷事件に関する意見書と抗議決議を全会一致で可決した。

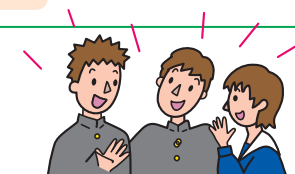
議会終了後、西野議長、基地対策特別委員会の代表は、嘉手納町の沖縄防衛局を訪れ、武田博史局長に意見書を手交して直接、抗議した。また嘉手納基地内の在沖米海軍艦隊活動司令部及び浦添市の在沖米国総領事館を訪ね、直接、抗議書を手交して抗議した。



こども議会を開催いたします!!

こども議会を傍聴しませんか？

12月26日（水）午前10時より、うるま市議会議場においてこども議会を開催いたします。市内中学校から30名のこども議員が身近な問題、市に対する質問や要望など、こどもの目線から質問いたします。市民の皆様の傍聴を歓迎いたします。



（12月定例議会は、12月3日（月）から開会予定をしております。）